

平成25年度 教育委員会 第2回定例会 議案

1 日 時 平成25年4月15日(月) 午後1時

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 事

第2号議案 天竜高等学校分校の名称決定 1

<非>第3号議案 静岡県就学指導委員会委員の委嘱及び任命 非

(3) 報告事項

(4) 閉 会

第2号議案

静岡県立天竜高等学校の分校の名称

平成26年度に新たに設置する天竜高等学校の分校の名称を次のとおりとする。

分校の名称	静岡県立天竜高等学校 ^{はるの} 春野校舎
所在地	浜松市天竜区春野町堀之内284(現春野高等学校の校地)
開校予定	平成26年4月1日

平成25年4月15日提出

静岡県教育委員会教育長

第 2 回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	人間関係づくりプログラム<高校生版>	1
2	「静岡県文化財等救済支援員活動の手引き」の刊行	7
	平成 25 年 5 月の主要行事予定	9

「人間関係づくりプログラム《高校生版》」の作成及び活用

(学校教育課高校教育室)

1 趣旨

不登校、中途退学、非行やいじめ等、高等学校が抱える諸課題の未然防止、早期発見及び早期対応を目的として、県教育委員会が平成20年度に作成した小・中学生対象の「人間関係づくりプログラム」を受け継ぎ、高校生を対象とした「人間関係づくりプログラム」を作成した。

なお、本プログラムの作成及び活用は、国の委託事業によるものである。

2 概要

(1) 作成者

人間関係づくりプログラム作成委員(大学教授等及びスクールカウンセラー等の有識者)及び協力委員(高等学校教員)

(2) プログラムの目標

ア 人間関係づくりのスキルを理解し、習得する。

イ 集団の構成員の本音を互いに受け入れていく温かな人間関係を育む。

ウ 自分を取り巻く環境から発生するストレスに対して、自分の中で適切に対処、対応していくスキルを習得する。

(3) 実施方法

ホームルーム活動等において、主としてクラス担任が指導する。内容によっては部活動や総合的な学習の時間、教科指導等において実施可能なものもある。

(4) 全体の構成

10のテーマと3つの編から構成されている。

クラス担任等の指導者は、指導したいテーマとクラス(学年、学校)の状況に応じた編の組み合わせによりプログラムを選択して実施する。

No	テーマ	編		
		A 基本編	B 標準編	C 発展編
①	クラス作りのための人間関係づくり	積み木自己紹介	①互いのことを知り合おう ②互いの理解を深めよう	互いに親しくなろう
②	行事における人間関係づくり	みんなの気持ちをひとつにしよう	文化祭模擬店 ロールプレイ	問題解決の方法を身につけよう
③	規範意識と人間関係づくり	不思議の国の鬼ごっこ	電車迷惑ワースト8	1番してはいけないのは?
④	いじめ・自殺防止対策としての人間関係づくり	ヒューマンビンゴ	短所を長所に	感じてみよう 「その時の気持ち」
⑤	部活動における人間関係づくり	心と体を合わせてチーム力をアップさせよう		対立を建設的な方向に解消しよう
⑥	ストレス対処と人間関係づくり	セルフケア		プラスのストロークを贈ろう
⑦	キャリア教育/学力向上のための人間関係づくり	学習ビンゴ	カードを使った進路探索	進路選択、何が大事?
⑧	目的達成(自己実現)のための人間関係づくり	ボールを使って課題にチャレンジ	人生の分かれ目に決断	みんなで解決策を考えよう
⑨	支え合うための人間関係づくり	役割分担でシートを華麗に動かそう	信頼できる仲間の中で、自分を表現してみよう	ストーリーテリング
⑩	特別支援における人間関係づくり	トラストウォーク	頼んでみよう、断ってみよう	何げない一言でだれかを傷つけていませんか

3 今後の予定

協力委員の所属校等において試行することによって、適切な活用方法について研究するとともに、プログラムの周知、普及を図る。

人間関係づくりプログラム



《高校生版》

静岡県教育委員会

目次

1 人間関係づくりプログラム（高校生版）発行にあたって 作成委員会委員長 岡田 弘（東京聖栄大学教授）	1
2 プログラムの内容	2
(1) 教育課程上の位置付け	
(2) 目標	
(3) 実施方法	
(4) 全体構成	
3 テーマ別構想 ープログラムのねらい一覧ー	3
4 プログラム実施上の留意点	5
5 プログラム	
1 クラス作りのための人間関係づくり	7
2 行事における人間関係づくり	15
3 規範意識と人間関係づくり	21
4 いじめ・自殺防止対策としての人間関係づくり	27
5 部活動における人間関係づくり	33
6 ストレス対処と人間関係づくり	37
7 キャリア教育／学力向上のための人間関係づくり	41
8 目的達成（自己実現）のための人間関係づくり	47
9 支え合うための人間関係づくり	53
10 特別支援における人間関係づくり	59
6 参考文献一覧	65
7 資料編（ワークシート等）	66

2 プログラムの内容

(1) 教育課程上の位置付け

本プログラムは、高等学校学習指導要領「第5章 特別活動」の〔ホームルーム活動〕の「1 目標」である「ホームルーム活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてホームルームや学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。」ことと、「2 内容」として掲げられた「ア 青年期の悩みや課題とその解決、イ 自己及び他者の個性の理解と尊重、ウ 社会生活における役割の自覚と自己責任、エ 男女相互の理解と協力、オ コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立」を踏まえて作成しています。

(2) 目標

プログラムの実施をとおして、次のア～ウの目標を達成するように作成しています。

ア 人間関係づくりのスキルを理解し、習得する。

(ア) 学年始まりの新たな集団における円滑な人間関係づくりを行えるスキルを習得する。

(イ) 相手の働きかけに対して適切に対応するための言語的側面、非言語的側面のスキルを習得する。

(ウ) 相手の立場を尊重しつつ、自らの気持ち、考え、主張などを、もめることなく表現したいときに、円滑に自分の意志を伝えるためのスキルを習得する。

イ 集団の構成員の本音をお互いが受け入れていく温かな人間関係をはぐくむ。

ウ 自分を取り巻く環境から生ずるストレスに対して、自分の中で適切に対処・対応していくスキルを習得する。

(3) 実施方法

ホームルーム活動等において、クラス担任が指導することを基本とします。プログラムの内容により、部活動や総合的な学習の時間、教科指導等において実施可能なものもあります。

クラスや生徒の現状、今後の見通し、望ましい在り方等を踏まえ、指導者がプログラムを選択して実施します。また、学年や学校の特別活動、総合的な学習の時間等の指導計画に適宜プログラムを取り入れることもできます。

(4) 全体構成

本プログラムは、下の表のように、10のテーマをそれぞれ3編に分けて構成しています。

クラス担任等の指導者は、指導したいテーマとクラス（学年、学校）の状況に応じた編の組み合わせからプログラムを選択して実施します。

№	テーマ	編		
		A 基本編	B 標準編	C 発展編
①	クラス作りのための人間関係づくり	積み木自己紹介	① 互いのことを知り合おう ② 互いの理解を深めよう	互いに親しくなろう
②	行事における人間関係づくり	みんなの気持ちをひとつにしよう	文化祭模擬店 ロールプレイ	問題解決の方法を身につけよう
③	規範意識と人間関係づくり	不思議の国の鬼ごっこ	電車迷惑ワースト8	1番してはいけないのは？
④	いじめ・自殺防止対策としての人間関係づくり	ヒューマンビンゴ	短所を長所に	感じてみよう 「その時の気持ち」
⑤	部活動における人間関係づくり	心と体を合わせてチーム力をアップさせよう		対立を建設的な方向に解消しよう
⑥	ストレス対処と人間関係づくり	セルフケア		プラスのストロークを贈ろう
⑦	キャリア教育／学力向上のための人間関係づくり	学習ビンゴ	カードを使った進路探索	進路選択、何が大事？
⑧	目的達成(自己実現)のための人間関係づくり	ボールを使って課題にチャレンジ	人生の分かれ目に決断	みんなで解決策を考えよう
⑨	支え合うための人間関係づくり	役割分担でシートを華麗に動かそう	信頼できる仲間の中で、自分を表現してみよう	ストーリーテリング
⑩	特別支援における人間関係づくり	トラストウォーク	頼んでみよう、断ってみよう	何げない一言でだれかを傷つけていませんか

3 テーマ別構想

—プログラムのねらい一覧—

No	編 テーマ	A	B	C
		基本編	標準編	発展編
1	クラス作りのための 人間関係づくり	【積み木自己紹介】 積み木自己紹介を通して、互いの名前等を覚え、人間関係を構築していく機会とする。	【①互いのことを知り合おう】 【②互いの理解を深めよう】 出会いのゲーム等を通して、互いに知り合い、和やかな人間関係を築く。(年度当初)	【互いに親しくなろう】 出会いのゲーム等を通して、互いを理解し合い、親近感を持つ。(年度当初)
2	行事における 人間関係づくり	【みんなの気持ちをひとつにしよう】 グループで課題解決に取り組み、仲間意識や達成感を体感し、グループ活動の楽しさを味わう。	【文化祭模擬店ロールプレイ】 模擬店出店についてのロールプレイを通して、話し合いに必要な事柄に気づく。	【問題解決の方法を身につけよう】 ブレインストーミングを活用した問題解決を通して、問題解決能力や学級内の人間関係を向上させる。
3	規範意識と 人間関係づくり	【不思議の国の鬼ごっこ】 様々なルールのお鬼ごっこを通して、活動場面での規範やルールの必要性に気づく。	【電車迷惑ワースト8】 電車内での迷惑な言動の順位付けを通して、互いの規範意識の違いに気づく。	【1番してはいけないのは?】 学校生活での良くない行動の順位付けを通して、規範意識について他者理解と自己理解を深める。
4	いじめ・自殺防止 対策としての 人間関係づくり	【ヒューマンビンゴ】 考え方や好みを尋ねるビンゴゲームを通して、多様性を受け入れ、互いを尊重し合うことの大切さを学ぶ。	【短所を長所に】 リフレーミング活動を通して、自己肯定感を高めるとともに、良好な人間関係を築く。	【感じよう「その時気持ち」】 会話のロールプレイを通して、その時の心理を共感し、聴き方や言い方を考える機会とする。
5	部活動における 人間関係づくり	【心と体を合わせてチーム力をアップさせよう】 様々な人数のグループで協力し、いろいろな課題に取り組む活動を通して、達成感や活動の楽しさを仲間と共感するとともに、仲間への信頼感を高める。		【対立を建設的な方向に解消しよう】 「ALSの公式によるメディエーションのシナリオ」のロールプレイを通して、対立の解消方法と日常生活での活用方法を学ぶ。

No	編 テーマ	A	B	C
		基本編	標準編	発展編
6	ストレス対処と 人間関係づくり	<p>【セルフケア】</p> <p>ストレスとその対処法について理解し、3つの対処法の体験を通して、日常生活や災害時の簡単なセルフケアとして活用できることを学ぶ。</p>		<p>【プラスのストロークを贈ろう】</p> <p>言葉によるプラスのストロークのロールプレイを通して、ストロークについて、その意義を学ぶ。</p>
7	キャリア教育／ 学力向上のための 人間関係づくり	<p>【学習ビンゴ】</p> <p>重要語句の復習をビンゴ形式で行い、学力を高めるとともに、学びの集団の質を向上させる。</p>	<p>【カードを使った進路探索】</p> <p>KJ法を活用し、自分に適した進路探索する活動を通して、自己理解を深め、進路選択に生かす。</p>	<p>【進路選択、何が大事?】</p> <p>進路選択の条件を順位付けする活動を通して、進路に対する自分の考え方を確認し、自己理解を深める。</p>
8	目的達成(自己実現) のための 人間関係づくり	<p>【ボールを使った課題チャレンジ】</p> <p>グループでボールを用いた課題に取り組み、達成感や楽しさを味わうとともに、向上心を高める。</p>	<p>【人生の分かれ目に決断】</p> <p>20年後の自分について語り合い、自己理解を深めるとともに、他者の多様性についても理解を深める。</p>	<p>【みんなで解決策を考えよう】</p> <p>KJ法による課題解決を通して、解決策は一つではないことや、多様な意見がよい解決策を作り上げることを学ぶ。</p>
9	支え合うための 人間関係づくり	<p>【役割分担シートを動かそう】</p> <p>シートとボールを用いたエクササイズを通して、支え合う大切さに気づき、役割遂行の楽しさや達成感を味わう。</p>	<p>【信頼できる仲間の中で、自分を表現してみよう】</p> <p>トラストワークなどの活動を通して、信頼し合える関係の中で安心して自分を表現する心地よさを体験する。</p>	<p>【ストーリーテリング】</p> <p>ストーリーテリングの活動を通して、支え合うことを実感するとともに、協力する大切さを学ぶ。</p>
10	特別支援における 人間関係づくり	<p>【トラストワーク】</p> <p>トラストワークを通して、問題を抱えている人の心理や視覚に障害のある人の望ましい支援の仕方を学ぶ。</p>	<p>【頼ってみよう、断ってみよう】</p> <p>適切なパーソナルスペースを体感したり、頼み方や断り方のロールプレイを通して円滑な解決方法を学んだりする。</p>	<p>【何げない一言でだれかを傷つけていませんか】</p> <p>経験をもとに、言葉を受け取る側の思いを理解する活動を通して、日常生活における適切な言葉の使い方を学ぶ。</p>

「静岡県文化財等救済支援員活動の手引き」の刊行

(文化財保護課)

1 目 的

南海トラフ巨大地震等の発生による文化財被害を最小限に抑えるため、「静岡県文化財等救済支援員」(以下、支援員)の登録制度を創設した。本手引きは、支援員が活動するために必要な、文化財の知識等をコンパクトにまとめたものであり、平常時・災害時に携帯して活動することを前提に作成した。

2 概 要

(1) 記載内容

- ・文化財の概要
- ・文化財等救済の仕組み
- ・支援員の役割
- ・保護の仕組み
- ・文化財の取り扱い方法
- ・関係団体連絡先 等

(2) 作成部数

1,600 部

(3) サイズ等

バインダー手帳サイズ、加除式、48 頁

(4) 配布先

- ・支援員
- ・静岡県文化財等救済ネットワーク加盟団体
- ・文化財所有者(市町指定、県指定、国指定)
- ・市町担当者

3 今後の活用方法

- ・平成 25 年度支援員養成講座に使用
- ・内容の修正等は随時メールで配信する。

【用語解説】

静岡県文化財等救済支援員

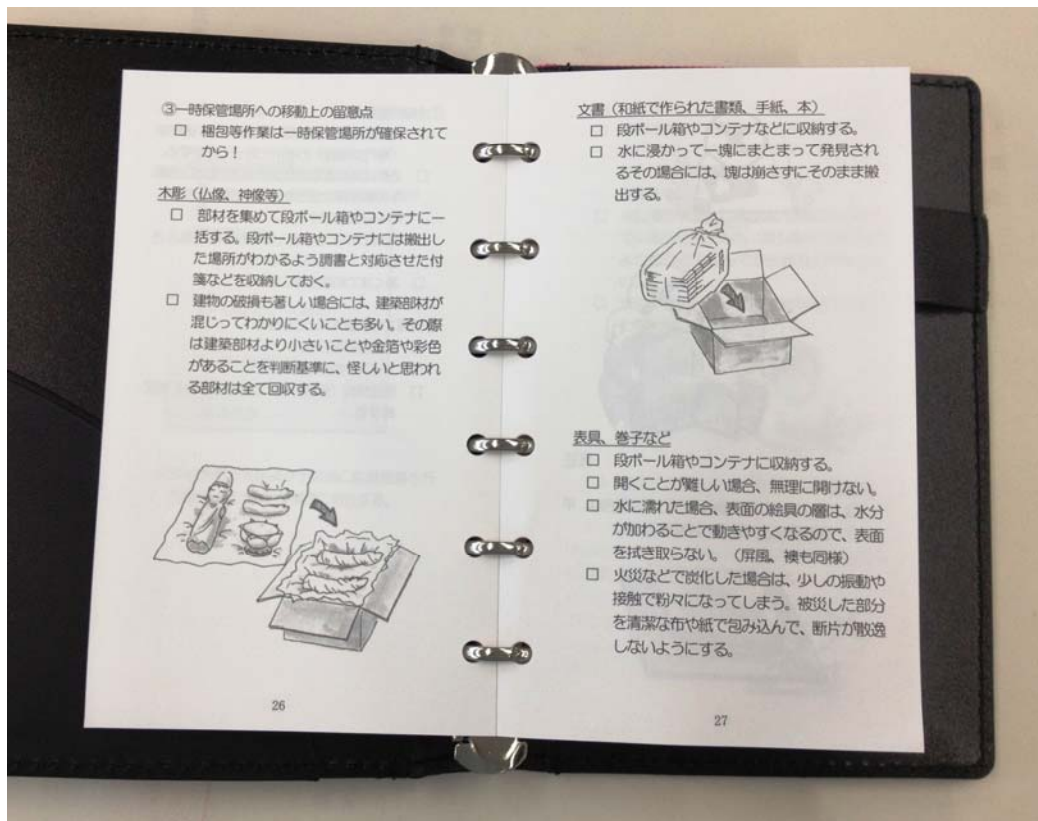
災害発生時に被害情報の自主的な収集と、県への直接報告、そして県からの依頼による被災文化財の応急措置にあたるボランティア。養成講座受講後に登録される一般ボランティアと、学芸員等文化財専門家ボランティアに分かれる。現在 127 名が登録。

静岡県文化財等救済ネットワーク

大災害時に被災した文化財を迅速に救済するための官民一体となった連絡調整組織。現在行政、大学研究室、NPO 法人等 40 団体が加盟。本課が事務局を務める。



(表紙)



(図解を加えた救済方法の説明)

報告事項

平成 25 年 4 月 15 日

(件 名)

平成 25 年 5 月の主要行事予定

日 時	行 事 名	会 場 等
5 / 13 (月) 13 時 (予定)	教育委員会定例会 (5 月第 1 回)	県庁西館 7 階教育委員会議室
5 / 15 (水) 13 時	市町教育委員との意見交換	静岡県総合教育センター (掛川市)
5 / 22 (水) 未定	移動教育委員会	県立農林大学校 (磐田市)
5 / 30 (木) 未定	教育委員会定例会 (5 月第 2 回)	県庁西館 7 階教育委員会議室

全委員 委員長のみ 該当委員のみ

< 県議会の日程 > 臨時会議 5 月 17 日 (金)